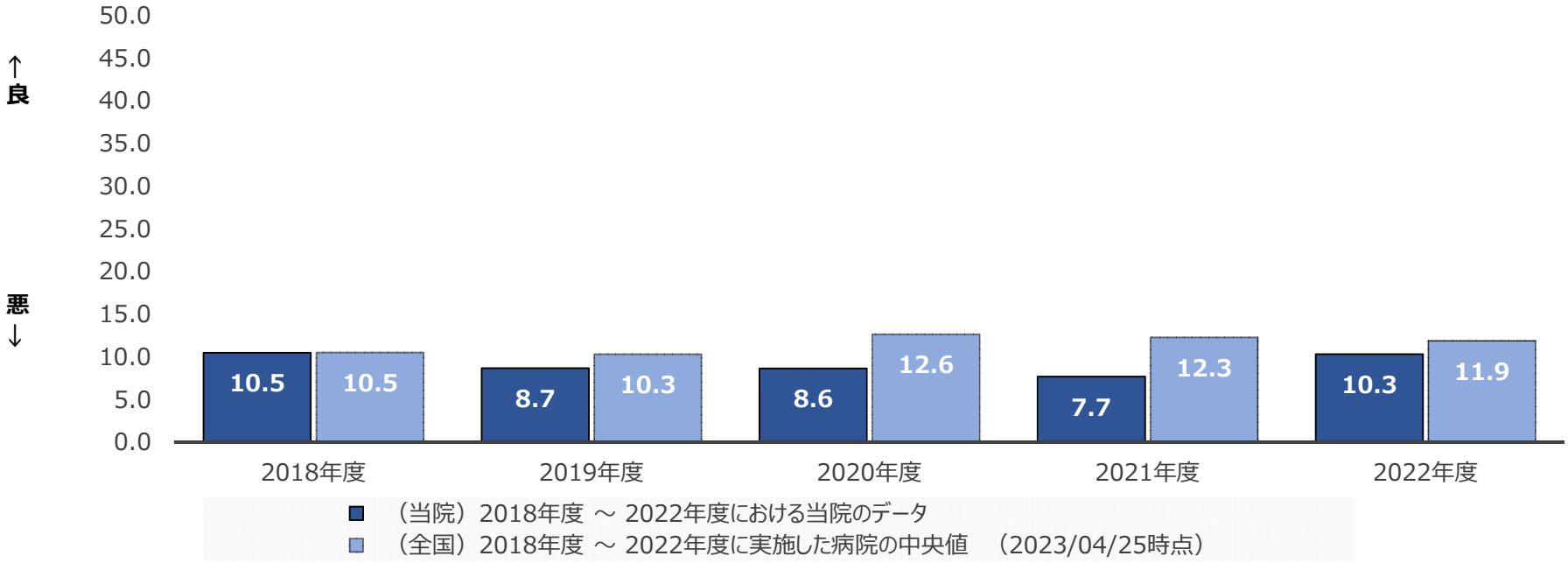
【19】脳梗塞入院1週間以内のリハビリ強度



＜定義＞

$$\frac{\text{（分子）入院７日目までのリハビリテーション施行単位数}}{\text{（分母）一週間以上入院した急性脳梗塞症例数}}$$

※発症後３日以内に入院した患者が対象

＜コメント＞

脳梗塞では運動麻痺や言語障害などの様々な症状が出ます。
早期からリハビリテーション（理学療法、作業療法、言語療法）を行った方が機能回復がよいとされます。
積極的に取り組んでいる場合には単位数が高くなります。
休日のリハビリテーションが対応できないために、2019年から調査参加病院の中央値より低下していましたが、2022年度は工夫することで、調査参加病院の中央値に近づいてきています。